

9月16日～30日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
06/09/18 (月)	東京休場のアジア市場は円独歩安。週末G7が期待外れに終わったとの見方もあり円売り進む。欧米は小幅にドル安。円安の流れが続くなが対米証券投資が低い数字に留まったことがドル売りを誘った。	・16日にG7開催、その声明は前回とほぼ変わらず、期待されたユーロ高・円安の懸念などは盛り込まれず ・第2四半期米経常収支 2184億ドル、7月の対米証券投資329億ドル	・ECB総裁「G7諸国は円が日本の景気回復を反映していくとの認識で一谷垣財務相「ユーロに対する円の下げがやや荒っぽい」 ・米財務長官「強いドルは米国の利益」	118.03	149.17	寄付
06/09/19 (火)	東京は小幅に円安。欧州当局者の発言を受けてやや円の買戻しが優勢な展開となった。欧米は米経済指標が総じて悪くドル売りで始まるもタイでクーデター発生との報から一気に円売り進む。	・9月独ZEW景気期待指数 22.2 ・8月の米住宅着工件数166.5万件、同建設許可172.2万件、同PPIは0.1% ・タイでクーデター発生、首相が戒厳令を発動へ	・欧州当局者「円が対ユーロで上昇すべきとのメッセージを市場が消化するには時間が掛かる」 ・ZEWエコノミスト「ECBの利上げも景気期待指数に悪影響を及ぼした」	117.86	149.78	寄付
06/09/20 (水)	東京はタイのクーデターが早晩沈静化すると見方から円の買い戻し活発。クロスでもやや円高へ。欧米はドルが小幅高。米利上げは見送られたものの追加利上げに含みを残したことが好感された。	・9月6/7日分の英中銀金融政策決定会合議事録要旨公開 ・米FOMCで金利据え置き決定、声明は「追加引き締め程度と時期はインフレ成長見通し次第」 ・安部自民党総裁が誕生	・タイ陸軍司令官「軍による統制は一時的なもの」 ・米財務長官「ドルの価値は市場が決定すべき」	117.55	149.01	寄付
06/09/21 (木)	東京のドル/円は小動き。しかしユーロが終盤にかけて強く全面高の様相で欧州市場へ。欧米はFF連銀指数がネガティブサプライズとなりドル急落。対円でも1円以上の下落となった。	・8月の米景気先行指数 0.2%、9月のFF連銀景気指数 0.4	・中国人民銀総裁「人民元の完全交換化を徐々に進める」 ・福井日銀総裁「CPI改定後も物価判断に変更ない」	117.32	148.91	寄付
06/09/22 (金)	東京はドル・円安で寄り付くも米財務長官の発言を失望と取る向きもあり徐々に切り返しへ。欧米は前FRB議長に絡む噂などからドル買えず。しかし噂が否定されると一気に相場は反転へ。	・第2四半期景況判断指数大企業製造業12.7 ・前FRB議長が講演会で「利下げを推奨した」との噂あり	・米財務長官「中国国家主席や国家首相などと様々な経済問題について協議した」	116.36	148.79	寄付
06/09/25 (月)	東京はクロスを中心に円高。日産Dに絡むとされるM&Aの手当買入などからユーロ/円などが買えず。欧米は引き続きユーロが買えない。大きな材料は見られないが調整的な動きに押された一日だった。	・日産ディーゼル株をホルバに売却との報道あり ・ハンガリー中銀が50BPの利上げへ ・8月の米中古住宅販売630万戸	・ダラウ連銀総裁「信頼できるインフレ指標は容認水準以上」	116.55	149.07	寄付
06/09/26 (火)	東京はあまり大きな動きなし。安部政権の誕生なども為替市場は材料視されず。欧米はドルがしっかり。対円では終盤117円台を回復。なおカシ発言からNZドルが大暴落。	・読売新聞朝刊に岩田日銀副総裁が利上げ示唆発言 ・安部新内閣が組閣される ・9月の独IFO景況指数104.9 ・9月の米消費者信頼感指数104.5、同リッチモンド連銀製造業指数9	・カシNZ財務相「最近のNZドルの上昇を懸念、輸出企業にとりリスクとなる」	116.39	148.46	寄付
06/09/27 (水)	東京は若干円高。前日のカシ発言の余波が残る展開でクロス中心にドル/円もやや円高に推移。欧米はドルが堅調裡。尾身発言が足元の円安を容認したとの見方に繋がったほか米経済指標が良好。	・第2四半期英GDP確報値0.7% ・8月の米耐久財受注 0.5%、同新規住宅販売105万戸	・ブランチワラー-BOE金融政策委員「英雇用市場は一段と悪化へ」 ・尾身財務相「ユーロ円にコメントしたり対応したりする段階ではない」 ・米財務長官「制裁は中国との交渉において不適切」	117.05	148.61	寄付
06/09/28 (木)	東京は輸入勢の長期予約などもありドル強含み。円は逆にクロスを含めて終日買えない。欧米は藤井発言で一時円買も見られたが続き。むしろ翌日の仲値不足観測などから相場反転。	・第2四半期米GDP確定値2.6%、同コアPCE価格指数確報値2.7% ・翌日の東京仲値で大量の円売りが出るとの噂 ・シューマーとグラムの両議員が対中制裁法案を取り下げ	・英FT紙「第2四半期の英国民総所得は計算ミスで上方修正されている」 ・藤井財務次官「最近のユーロに対する円の下落はやや荒っぽい」	117.47	149.36	寄付
06/09/29 (金)	東京は半期仲値不足などもあってかドル不足顕著。損切りを巻き込み118円台へ。欧米は一部報道などもあり円が買われる局面も見られたが続き。結局円はクロスを含め安値圏で月超え。	・8月の消費者物価指数0.6%、同鉱工業生産1.9% ・8月の米個人所得0.3%、同個人支出0.1%、同コアPCE価格指数0.2%、9月シカゴ大消費者信頼感指数確報85.4、同シカゴPMIは62.1	・尾身財務相「最近のユーロに対する円の下落は荒っぽい」 ・一部報道「中国外為当局が29日中に何らかの新ドルを発表」(のちに当局から否定)	117.77	149.65	寄付
				118.20	149.88	安値
				117.52	149.09	高値
				118.17	149.76	終値

* 製作・著作；「FXニュースレター」

URL； <http://www.fx-newsletter.com/>